

電気電子コース

基幹産業を支えるエレクトロニクス技術と、社会インフラの根幹を成す電気回路の設計・運用技術といった電気電子の体系的な知識と、機械工学などの関連技術をバランスよく学ぶためのカリキュラムを用意。半導体デバイス、集積回路に関わる実験、プログラミングを駆使したシミュレーションなどで創造的思考力と研究遂行能力を養い、次代を担う電気電子工学エンジニアの育成をめざします。

学びの分野

集積回路工学／センサ工学／
シミュレーション工学／
半導体デバイス工学／電力制御工学



エレクトロニクス技術と プログラミングを 駆使したシミュレーション 技術を学ぶ

情報処理、プログラミング、電磁気学、電気回路などの基礎科目と機械工学分野のCAD工学、ロボット工学などの関連科目を幅広く学び、半導体デバイス、電力制御、シミュレーション技術などの電気電子工学全般の授業科目群で専門性を高めます。実験課題や卒業研究を通じて応用と実践力を身につけます。

将来的には

基幹産業と社会インフラを支える電気電子工学のエンジニアとして、電子部品の開発・製造企業、電力関連企業のほか、公務員(技術職)、高校教諭(工業)への就職実績があります。

クローズアップ研究室

広大な電力システムの研究

本田 秀樹 教授[博士(工学)]

インフラを担う技術者として、 社会貢献とやりがいを感じてほしい

電力システムの研究は、いかに停電を減らすか、周波数・電圧の変動を抑制するかなど、課題や対策が具体的にイメージしやすい分野です。日常生活で必要不可欠な電力システムが、どうあるべきかを自らイメージして、研究に取り組んでほしいです。電力システムの解析ツールを、プログラミングにより自分で作成し、電気回路の理解が深まることを期待しています。研究室では、技術者として必要な知識と心構えも説いています。

